



# 生涯学習にいがた

No. 79 平成21年9月14日

## 変化の波に乗る社会教育主事有資格者研修会

8月7日(金)に上・中・下越・新潟市社会教育主事(等)会と共催で「全県社会教育主事有資格者研修会」を開催しました。本研修会は、これからの生涯学習・社会教育の方向を確認し、社会教育主事有資格者として何をすべきかを有資格者同士が再考することにより、新潟県内の生涯学習・社会教育の推進者としての自覚を高めることをねらいとしました。概要は以下の通りです。



### 【講義】

#### 「これからの社会教育を考える」

講師 千葉大学 明石要一 先生

1. 時代が変わった  
大学進学率が5割を超えた。
2. 地域が変わった  
団塊の世代で孫の無い人が25%など、教育より福祉を重視する人が多くなってきた。
3. 親が変わった  
学校と塾や社会体育を同列で見るようになり、学校を中心という考えが以前より薄くなってきた。
4. 子どもが変わった  
放課後が無くなり、保護者の収入の多い子どもだけが様々な体験ができる等、体験格差が大きくなってきた。

その中で、学校は体験が無い子ども達を授業内容に入るまでに多くの時間を割かなければならなくなってきた。そこで、社会教育の重要性が見直され「放課後子ども教室事業」などが出てきた。



### 【グループワーク】

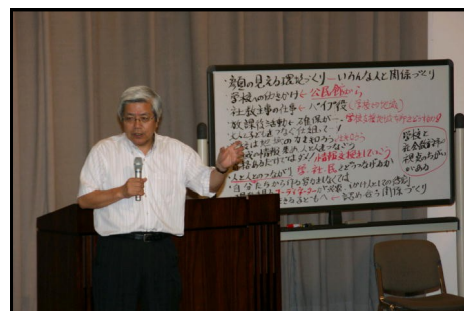
- 社会教育主事はパイプ役にならなくてはならない。(学校⇄地域など)
- 人と人を、学・社・民をつなげる必要があるが、具体的にはどうすべきか。
- 自分たち(社会教育主事)からつながりを作る努力をしなくてはならない。
- 学校は地域を知る必要がある。そこから地域の力を見つける。
- 今の時代を生きる子どもに、お互いを認め合う関係作りをさせる。

### 【発表と講評】

講評 千葉大学 明石要一 先生

社会教育主事の資格を持っている人に必要な事とは…

- 地域の教育カリキュラムを作る(やわらかな計画)
- 将来を考えこの地域の子どもをどう育てるかを考える
- 地域の人材を捜せる目を持つ(使える人を見つけ出す)
- 仕組みを作る(物事の段取りができる)



当日は、学校職員で社会教育主事有資格者の方々も多数受講され、「講師の話が分かりやすく、社会教育主事としての再確認ができた。」「行政の方々と話し合いができ参考になった。」等の意見が多数寄せられました。アンケート結果では「成果があった」と答えた人が全体の98%となり、成果の上がった研修会となりました。

# 社会教育主事専門講座

7月22～24日の3日間にわたり、県内生涯学習・社会教育関連機関で活躍している社会教育主事のコーディネーターとしての専門性を高め、県内生涯学習・社会教育の推進を図ることをねらいとして、「社会教育主事専門講座」を実施しました。概要は以下の通りです。

- 講義「社会教育行政の現状と社会教育主事に求められる課題」

講師 独立行政法人国立青少年教育振興機構 菊川律子 様

教育基本法改正以後の動向、新潟県の生涯学習・社会教育について優れている点や課題と思われる点等について解説。社会教育主事に求められる資質能力や課題について等、具体的な内容について講義。

- 事例研究・演習「地域・家庭・学校を結ぶ仕組みづくりに果たす社会教育主事の役割について」

基調報告者 滋賀県教育委員会事務局生涯学習課 北島泰雄 様

滋賀県で実施している家庭・学校・地域・企業等の連携にかかわる事業を説明。

ワークショップ形式で演習。(それぞれの課題の洗い出しと解決策の検討)

- 講義「地域の課題把握のための情報収集・活用方法について」 講師 東京家政大学 山本和人 先生

「課題」とは何か。情報の収集・活用。

「ノートの活用方法の説明」「イベント開発企画のフレームワーク」「自分で採点するネットワーク・チェックリスト」

- 演習「地域情報の分類・整理・活用方法～シートの開発を行う～」 講師 東京家政大学 山本和人 先生

グループワーク 課題:「地域・家庭・学校を結ぶ仕組みづくりはどのようなシステム、フレームで考えればよいか。そのために必要な情報をどのように整理すればよいか。」

- 講義「社会教育主事に求められるコーディネーターとしての資質について」

講師:(有)マックス・ゼン・パフォーマンスコンサルティング代表取締役 丸山結香 様

社会教育主事に求められるコーディネーターとしての資質について、演習を交えながら講義。

- 演習「コーディネーターに求められるスキルの習得～演習により例題の訓練を行う～」

講師:(有)マックス・ゼン・パフォーマンスコンサルティング代表取締役 丸山結香 様

コーチングのスキル(①アイスブレイク ②ペーシング ③アクナレッジメント ④オープンクwestion)について実施。

# 家庭教育支援者ステップアップ研修会

家庭教育支援者ステップアップ研修会は、すでに地域で活動している家庭教育・子育て支援リーダーの資質向上と家庭・地域の教育力の向上を支援する中核的人材の養成を目的に、3回シリーズで実施しています。今年の会場は長岡市越路支所大会議室です。前半の内容をご紹介します。

第1回 7月29日(火)

「チームが和む、心が和む イチオシ活動」  
「訪問型家庭教育支援とは

～最新の子育て支援を考える～」

午前は当センター職員の進行で、各受講者の自己紹介、そしてアイスブレイクのスキル演習を行いました。自己紹介ボードを使っての活動紹介や様々なレク活動を通じて、受講者の緊張もほぐれました。

午後からは、長野県短期大学専任講師の金山美和子先生より、最新の文科省・厚労省の子育て支援策の動向や訪問型家庭教育支援について講義・演習しました。



この研修会には県内4カ所の「訪問型家庭教育支援チーム」の資質向上研修も含まれており、中越地区を中心とした43名が参加しました。

第3回は9月29・30日です。

第2回 8月25日(火)

「一歩前に出たら変わる家庭教育支援」

新潟市立入舟小学校長の

梅津玲子先生より「学・社・民の融合による教育(子育て)のすすめ」と題して講義演習を行いました。

地域の家庭教育支援と、学校を拠点にすすめられ

ている学校支援地域本部事業とをどう融合させていくか。その必要性は何かなどを考えました。

また親子・師弟のような「縦の関係」や兄弟姉妹・級友のような「横の関係」だけでなく、隣のじいばば、地域の人といった「ななめの関係」の人がコミュニティの「すじかい」の役目を果たすことも分かりました。

学校教育と社会教育そして家庭教育の3つ活動の機能を同時に果たしていこうという意識が、受講者に見られました。\*学(幼保小中学校他)社(公民館・図書館・博物館・子育て支援施設他)民(自治会・PTA・育成協・地元企業・地域住民他)





## 著作権セミナー (主催:文化庁・新潟県教育委員会)



8月25日(火)に、長岡市立劇場において「著作権セミナー」を開催しました。県内外から、約110名の参加がありました。概要は以下の通りです。

- 講義「著作権制度の概要」 講師:文化庁長官官房著作権課 鳥居省司 様  
著作権に関する基本的な事柄(知的財産権・著作物・著作者・権利の内容等)について。
- 分科会(一般・行政職員部会、教職員部会、図書館職員部会)  
各所属に応じた内容について文化庁職員が講師となり、事例研修を実施。
- 講演「著作権をめぐる最近の状況」 講師:文化庁長官官房著作権課 鈴木修二 様  
著作権法改正の概要や文化審議会著作権分科会の審議状況、インターネットの普及に伴う改正内容などについて。

内容等については、各種資料(文化庁「著作権テキスト 平成21年度」、社団法人著作権情報センター「はじめての著作権講座」)に掲載されています。それらを活用し厳正な対応が求められる著作権について、ぜひ各所属で研修を深めてください。(資料が必要な方は、教育庁生涯学習推進課にお問い合わせください。)

## メディア研修

6月から始まった前期のメディア研修会も終盤を迎えました。今年度のメディア研修は前期・後期に分けて、それぞれに異なったものを企画しました。「デジタルカメラ撮影」「画像加工」「ビデオ撮影」「ビデオ編集」「プレゼン作成」「ホームページ作成」など、受講者を初心者にとり基礎的な実技研修を行っています。コンピュータ設置数の関係で定員を設定いたしましたが、どの講座もほとんど定員に達してしまい、締め切り前に受講申込みをお断りすることになりました。受講をお断りした方々にはこの場を借りてお詫びいたします。

のべ、110名ほどの受講者に参加していただきましたが、どの講座でも大変熱心に取り組む受講者の方々の姿が見られました。受講後のアンケートからは、「とても充実した研修であった。」「少人数で研修しやすかった。」という声が圧倒的に多かったです。特に、「今後の仕事に活用できる」という回答が100%だったことはメディア研修担当者としては嬉しい限りです。

一部の受講者からは「時間が短すぎた」「操作しにくいPCだった」「もっと上級者のレベルの講座をお願いしたい」という意見もありました。

10月下旬より後期のメディア研修会を予定しています。前期にニーズが多かった「プレゼン作成」「ホームページ作成」や、年度末の活用が期待される「ビデオ編集」については、後期のメディア研修でも行っていきます。9月末には案内を各機関に配布する他、ホームページにも掲載する予定です。参加申込の程よろしくお願いします。



## 社会全体で子どもをはぐくむ運動

早速ですが、みなさん、右のイラストをご存知ですか？

このイラストは、「社会全体で子どもをはぐくむ運動」のロゴマークです。県民一人ひとりが子育てのサポーターとなって力をあわせて子どもたちを育ててほしいという願いがこめられています。

この運動では、家庭教育の支援や子どもの居場所作り、学校支援などの取組が県内各地で行われています。

また、今年度は、それらの活動を広く紹介する、社会全体で子どもをはぐくむ運動フォーラムを開催します。県内のモデル地域で進めている訪問型家庭教育支援チームの成果報告会のほか、運動で取り組まれている放課後子ども教室や学校支援地域本部の活動のほか、各地域や団体で工夫して行っている子育て支援活動を紹介するコーナーを設置する予定です。お互いに顔を合わせた情報交換により、文字だけでは得られないヒントや気づきがあり、明日の活動の広がりになることでしょう。皆様の参加をお待ちしています。また、「自分たちの活動を紹介したい!」「こんな活動がある」などの情報がありましたら、お気軽に下記までご連絡ください!

できることから、小さなことから、わたしたちにできる活動を進めましょう。あなたから、はぐくみのネットワークを!

【お問い合わせ】新潟県教育庁生涯学習推進課青少年家庭教育係 TEL 025-280-5617 FAX 025-284-9396

【フォーラムの日程】※ 詳細は後日お知らせします。

日程 平成21年12月6日(日) 12:30~16:30(予定) 会場 長岡市中之島文化センター(マナビィプラザなかのしま)

※ イラストは、運動の趣旨に沿った活動の資料に使用可能です。ぜひとも、講座や研修会の資料にご利用ください!



## センターホールが名画座に! 映画・ビデオ鑑賞会 ～ホール『全席』無料開放～

- ◆9月27日(日) 13:00～14:50  
『ハードル』 ・2007年制作、アニメ、84分
- ◆10月25日(日) 13:00～14:50  
『奥の細道』 ・1992年制作、記録画、25分  
『彫刻に見る日本のよさや美しさ』  
・1999年制作、記録画、21分  
『生活に生きている 日本の美術文化』  
・2005年制作、記録画、22分  
『東山魁夷 山雲濤声』 唐招提寺障壁画の記録  
・1995年制作、記録画、29分

- 各回とも、開場は上映開始の30分前となります。
- 入場無料、申込不要、先着順(186名)
- 会場: 県立生涯学習推進センター・1Fホール
- 運営: 映画ボランティアの会
- 駐車場: 鳥屋野潟公園の駐車場をご利用ください。
- 詳しくは、センターホームページをご覧ください。  
(<http://www.lalanet.gr.jp/nlpc>)

※ 事情により内容を変更する  
場合があります。



## 新潟県立青少年研修センター 平成21年度11月主催事業の案内

青少年指導者グループワーク研修

### 『構成的グループエンカウンター 宿泊体験ワークショップ』

◇内容: 教育現場で人間関係づくりや自己発見に効果を上  
げている構成的グループエンカウンター(SGE)の実  
習を行います。

◇日時: 11月21日(土)～23日(月)、2泊3日

◇場所: 県立青少年研修センター

◇対象: 18歳以上で小・中・高および専門学校等の教員、青  
少年教育担当者、グループワークに関心のある人  
(高校生を除く)

◇定員: 30人(先着順)

◇講師: SGE公認リーダー

吉澤克彦 氏 (村上市立塩野町小学校長)

吉田隆江 氏 (武南高等学校教育相談主事)

◇参加費: 3,500円(予定)

◇申込方法: 電話にてお申し込みください。

(定員になり次第締め切ります。)

◇申込期間: 10月31日(土)～11月7日(土)

◇申込み先 県立青少年研修センター

〒953-0012 新潟市西蒲区越前浜5597-1

TEL 0256-77-2111 FAX 0256-77-2114

※ エンカウンターとは、ホンネを表現し合い、それを認め合う  
体験のことである。リーダーの指示によって行うエクササイズ  
を通してエンカウンターを体験することを構成的グループ  
エンカウンターという。

## さわやかメール

新潟県民にとりまして、今年の夏は感動の夏になったことと思います。それは、高校野球史上、日本文理高校が新潟県勢初の準優勝となったことでもあります。準優勝の栄誉もさることながら、決勝での9回2死から5点を取った反撃は、優勝にも劣らない見事な内容で、感動そのものでありました。そして、日本文理だけでなく、甲子園を目指し悔し涙を流した多くの高校球児にも大きな拍手を送りたいと思いました。

スポーツに打ち込むひたむきな姿や最後まで諦めない粘り、どこまでもチャレンジする情熱は、人々に多くの感動と勇気を与えてくれます。スポーツの醍醐味もそこにあるような気がします。

さて、いよいよ9月26日からトキめき新潟国体、10月10日からトキめき新潟大会が開催されます。新潟の空の下で素晴らしい熱戦・競技が繰り広げられることでしょう。新潟選手団にエールを送ると共に、参加選手全員の頑張りと活躍を期待しましょう。

### ●新潟県生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」

<http://www.lalanet.gr.jp/>  
携帯版は、<http://www.lalanet.gr.jp/m>

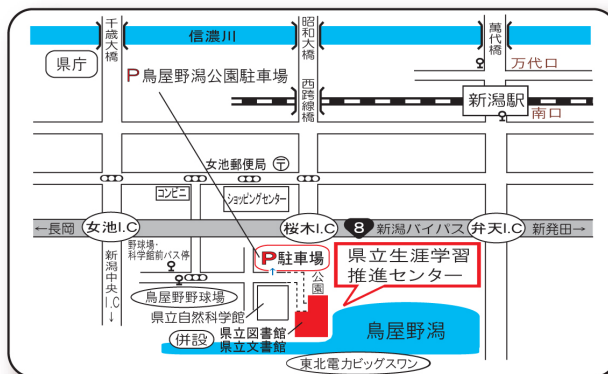


### ●家庭教育・子育て電話相談「すこやかコール」

TEL:025-283-1150 FAX:025-284-6019

### ●生涯学習相談・情報提供「ちょっとおしえてコール」

TEL:025-284-6119 soudan@mail.lalanet.gr.jp



新潟県立生涯学習推進センター 新潟市中央区女池南3-1-2 TEL:025-284-6110 FAX:025-284-6019  
(URL) <http://www.lalanet.gr.jp/nlpc/> (e-mail) [nlpc@mail.lalanet.gr.jp](mailto:nlpc@mail.lalanet.gr.jp)